

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月19日更新

事務事業名		青少年育成市民会議活動支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	辻 健一
	施策	19	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	生涯学習課	担当者名	斉藤 明子
	基本事業	58	地域における子育て支援			所属班	生涯学習班	(内線)	1513
予算科目		会計一般	款 10	項 5	目 1	事業連番 10818	法令根拠	合志市社会教育団体活動事業補助金交付要綱 成果優先度評価結果 : ⑧ コスト削減優先度評価結果 : ⑥	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	合志市青少年育成市民会議に対して、864,000円の助成金を交付。①旧合志町では、昭和56年度から青少年育成町民会議が発足し、この事業が始まった。②旧西合志町では、昭和62年度から青少年育成町民会議が発足し、この事業が始まった。青少年を対象にした悲しい事件が相次いで発生し、またいじめ、ひきこもり、ニートなどの問題が顕在化し、青少年を取り巻く社会的環境はますます厳しさを増している。子育ての問題がより重要視されていく中、家庭、学校、地域での連携した取組みを推進すべき時代になっている。
【業務の流れ】	4~5月中に監事会及び理事会、総会・各部会を開催し、その後、部会ごとに業務を実施。指導部会は7・8・3月に教育パトロール。育成部会は10月に教育特別講演会。推進部会は青少年地域ふれあい事業の各地区での実施と7~11、2~3月の月2回の夜間パトロール。事務局は、各部会の事業の計画・実施及び事務・会計を執り行なった。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	市民会議 委員の構成は、関係各方面から集合し、一応市民の総力を挙げて取り組んでいる格好はついているが、実質的な活動が形骸化しているとの指摘がある。組織のあり方からその目的・活動まで見直しの声もあがっている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
合志市青少年育成市民会議に対して、864,000円の助成金を交付。	合志市青少年育成市民会議に対して、864,000円の助成金を交付予定。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 補助金の額	千円
イ:	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
合志市青少年育成市民会議	→ ア: 市民会議を構成するメンバーの数
	イ: 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
地域で子どもを見守っている	→ ア: 子どもの安全に不安を感じる世帯の割合
	イ: 人
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠	
社会情勢を勘案するとあまり変化しないと予想され、本市青少年育成市民会議でも継続的に活動を実施していることから、今年度と変わらない目標値を設定している。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込	
① 活動指標	ア	千円	864	774	864	864	864	864	864	864	
	イ										
② 対象指標	ア	人	130	130	130	130	130	130	130	130	
	イ										
③ 成果指標	ア	人	31.9	31.9	30	31.9	30	30	30	30	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	864	774	864	681	864	864		
		(A) 事業費計	千円	864	774	864	681	864	864	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	936	438	199	2,828	199	199	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	3	2	1	3	1	1	0	0	
	延べ業務時間	時間	230	110	50	710	50	50	0	0	
	(B) 人件費計	千円	936	438	199	2,828	199	199	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,800	1,212	1,063	3,509	1,063	1,063	0	0	

事務事業名	青少年育成市民会議活動支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 事業内容はほぼ昨年と同様であり、現在のところ計画している内容は実行できているため。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 市民会議の構成メンバーは多くの団体で構成されている。団体単位での青少年育成活動なども行われているが、その成果をうまく結集した活動で、全市的な運動を開催していくべきである。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある⇒【理由】 (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 各種団体の運営への関与は難しいが、その集合体として動く市民会議は、活動内容次第で成果向上を図ることができると思われる。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 団体への補助金は、市全体での見直しが必要であり、それに伴い金額が削減されることも考慮しなくてはならない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助金の交付や事業実績の確認など、必要最小限の事務であるため、削減は難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市民会議は全市あげて青少年の健全な育成に取り組む団体であり、受益の偏在はありえないので公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 組織自体の有り方や活動なども見直す時期に来ていると思われる。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

今年度の講演会は、市P連との共催に加え、社会を明るくする運動合志市推進委員会との合同開催を実施し、内容向上を図ることができた。今後も他の団体などとの連携や協力を視野に入れて活動していきたい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						